

## 「タイ文化圏教育プログラム」の結果報告

期間：2009年5月15,16,17日の3日間

受講生：16名

講師と内容：

5月15日（金）

- (1) 新谷忠彦：「タイ文化圏」とは
- (2) クリスチャン・ダニエルス：タイ文化圏の歴史と文化

5月16日（土）

- (3) 新谷忠彦：タイ文化圏の言語と民族
- (4) 山田敦士：モン・クメール系民族の言語：現状と課題
- (5) 加藤高志：チベット・ビルマ系民族の言語：現状と課題  
(新谷忠彦：カレン系民族の言語)
- (6) 長谷千代子：中国におけるタイの社会と文化 — 雲南省徳宏州の宗教を中心に —

5月17日（日）

- (7) 園江満：タイ文化圏の生産技術 — ラオスを中心に —
- (8) 総合討論

評価：

当初は若手研究者や学生を対象と考えていたが、やや高齢の方からの応募もあり、特段断る理由もなく、人数的にも余裕があったため、応募者全員に受講を認めた。人数的には若干多めには感じたが、おおむね適当な人数であったと思う。関西方面からの参加者が多く、自費で参加しておられたことにそれなりの意欲が伺えた。時間の設定に関し、各講師のあいだに30分間の長めの休憩時間を設けていたが、このことが結果的に極めて有効に働き、クッションタイムとして発表時間・質問時間もかなりとることができた。参加者全員に感想文を書いてもらったが、非常に好意的な反応ばかりで、「タイ文化圏」の存在とそれを研究することの意義を理解してもらい、という当初の目的は十二分に達成されたものとする。  
(新谷忠彦)